

& EARTH

2025年8月26日

各位

三井不動産ビルマネジメント株式会社

横浜プラザビルにて「横浜美術大学×横浜プラザビル Art Project」が始動

三井不動産ビルマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:吉田 直生、以下「当社」)は、2025年7月15日に学校法人トキワ松学園 横浜美術大学(所在地:神奈川県横浜市青葉区、学長:加藤良次、以下「横浜美術大学」)と、当社が運営管理を受託する「横浜プラザビル」(以下「本物件」)において、地域連携事業「横浜美術大学×横浜プラザビル Art Project」をスタートしたことをお知らせいたします。

■「横浜美術大学×横浜プラザビル Art Project」とは

本物件が位置する「ヨコハマポートサイド地区」は、「アート&デザインの街」をコンセプトとして、各事業者が協調しながら、デザインを重視した質の高い街づくりを展開しています。そのなかで、本プロジェクトは、エントランスおよびビル内各階に横浜美術大学の学生・卒業生・教職員らの創造性あふれる作品を設置し、オフィスワーカー、来訪者の方々、地域の方々がアートを通じて交流し、ヨコハマポートサイドエリアの新たな芸術文化の拠点となることを目指しています。

今後も、当社として地域と連携を図りながら「アート&デザインの街づくり」に寄与してまいります。

■展示会場

横浜プラザビル

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6

アクセス:横浜駅きた東口より徒歩 5 分 展示場所:1 階エントランス、3~5 階共用部

〈作品展示の様子〉



■参考

横浜美術大学ニュースリリース

横浜駅東口・横浜プラザビルにて「横浜美術大学×横浜プラザビル Art Project」が始動 |横浜美術大学

■本件に関するお問い合わせ

三井不動産ビルマネジメント株式会社 総務部 総務グループ 広報・ブランディングチーム お問い合わせフォーム

三井不動産ビルマネジメント株式会社について

当社はオフィスビル等のプロパティマネジメントを中心にテナント企業や地域・社会に対するさまざまな付加価値の提供を行っています。社会・経済環境の変化とともに、「働き方」が多様化し、オフィスは単に働く「場所(スペース)」ではなく、創造的で革新的な価値を生み出す「場面(シーン)」になっていくと捉えています。

「オフィス」「働き方」の新たな在り方をつくっていく「Only One 企業」としての強い覚悟意志をもって「ビジネスシーンの明日を変えていく」ことに挑戦し、さらなる進化を続けてまいります。

※三井不動産ビルマネジメント株式会社 コーポレートサイト: https://www.mfbm.co.jp/

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」
 - https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
- ・「グループマテリアリティ」
 - https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- · 「 & EARTH for Nature I
 - https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ